

東近江市における地域学校協働活動の取組

[取組状況] ■地域学校協働本部 □地域未来塾 ■放課後子ども教室 ■土曜日の教育支援

■目指す姿

市内全小中学校に地域学校協働本部を設置し、幅広い地域住民の参画により、地域と学校が連携・協働しながら、地域全体で子どもたちの心豊かな成長を支え、地域を創生する持続可能な活動を推進していく。

■本年度の具体的活動

- ・ 本部長及び地域学校協働活動推進員合同連絡会の開催（4月・2月）
- ・ 東近江市地域学校協働活動推進に向けた運営委員会の開催（5月・9月・2月）
- ・ 東近江市地域学校協働活動推進員連絡会の開催（6月・10月・12月・3月）
 - （1）各本部における取組の報告、情報交換、質疑応答
 - （2）県研修会等の報告
- ・ 県教育委員会主催研修会への参加

■本年度の成果

- ・ 地域学校協働活動推進員連絡会では、各本部における取組の報告の他に、中学校区での情報交換の時間を設けた。中学校区で連携した体制作りを進めた。
- ・ 本部長と地域学校協働活動推進員との連携を深めるために合同連絡会を開催した。4月の合同連絡会では、CSアドバイザー北島泰雄氏に御臨席賜りコミュニティ・スクールについての研修を実施した。
- ・ コミュニティ・スクール導入推進のため、市内の学校運営協議会委員の交流会を開催した。
- ・ 放課後子ども教室では、長期休業期間を中心に7教室実施した。
- ・ 各校におけるボランティア会議等で活用できるよう、各本部の活動をまとめた東近江市地域学校協働本部実践事例リーフレットを作成した。



【 地域学校協働活動推進員委嘱式 】

■課題と今後の連携・協働活動の推進に向けて

- ・ 各地域の特色を生かして、持続可能な活動を支援し推進していく。
- ・ 地域学校協働活動推進員、地域ボランティア等の人材確保が必要である。
- ・ 学校と地域学校協働活動推進員との無理のない連携体制を構築していく。
- ・ 各地域、各校の状況に応じた形でコミュニティ・スクールの導入を推進していく。



【 合同連絡会：CS研修 】

■地域学校協働活動推進員の委嘱状況

- ・ 平成30年度から教育委員会委嘱で市内全小中学校に配置（令和5年度29名）

■地域内の公立学校園の学校運営協議会の導入状況および計画

- ・ 令和5年度 市内小学校5校、中学校1校で実施